

1.

氏名 : Ms. Caroline Buosi Molina

国名 : ブラジル

所属組織 : 農業開発省 ジェンダー／人種／民族平等諮問委員会

2. 基本情報

ブラジル連邦共和国は南アメリカ最大の国である。

ブラジルの経済は多様性に富み、農業、工業、各種サービス業が盛んである。農林水産業生産は2007年のGDPの5.1%であった。

家族経営農業は430万戸、国内の農業施設の84%にあたる。1230万人がわずかに24%の耕作地を所有し、国民総所得の38%を創出し、食糧の70%を消費している。

2003年以降、農業開発省を通じて連邦政府は、家族経営の農業従事者の経済的エンパワーメントおよび持続可能な農村開発プロジェクト推進の戦略の一環として、農業部門を支援する政策を採っている。具体的には、クレジットの延長；技術支援と農村拡充業務の範囲の拡大；収穫計画；バイオディーゼル燃料の生産と利用；食糧調達；農地へのアクセスの強化が行われている。

ブラジル農村地帯の民主化戦略として、女性は直接的な受益者として公共行政に取りこまれるようになった。それを確立するためにアフーマティブアクション政策が実施され、文書化政策へのアクセス／生産及び商品化への支援／農地の平等な権利を通じて、経済的エンパワーメントが推進された。

また、省内の各部局およびINCRA(国立植民地化土地改革機構)の全国理事会と地域監督部が集結して、農業開発省(MDA)内に農村女性・キロンボラス部(the Rural Women and Quilombolas Department)が設置され、女性政策の主流化が推進されている。農村女性・キロンボラス部(the Rural Women and Quilombolas Department)は、生産支援と農地へのアクセスを通じ、農村女性の社会的包含と経済的権利の推進を目指して公共政策の策定を行う。その業務は他の省や機関と連携して遂行する。組織間の主要な協調の一つとして、女性政策特別事務局(SPM)がある。

3. ジェンダー主流化における3つの主要課題／障害

- ◆ 男性中心の家父長制社会
- ◆ 社会組織、特に女性団体の脆弱さ
- ◆ ジェンダー主流化の制度化の程度が連邦／州／市町村によって異なる。

4. 現行の主要国家政策／計画における3つの優先事項

- ◆ 農村女性を、その婚姻の有無に関わらず経済の主体者として考慮すること
- ◆ 性別分業対策
- ◆ 意思決定者としての女性の社会参加をいかに高めるか

5. 職務内容

- ◆ 「農村女性のための技術支援および農村拡充プログラム」(Ater : Technical Assistance and Rural Extension for Rural Women)の分析・実施・モニタリング
- ◆ 技術支援に関する公共政策(Technical Assistance Public Policy)の策定と管理
- ◆ 「農村女性のための技術支援および農村拡充プログラム」(Ater)における国家女性調整機構(Women National Articulator)のネットワーク化
- ◆ 提携団体・組織と連携した専門的政策的管理
- ◆ 「農村女性のための技術支援および農村拡充プログラム」(Ater)の予算作成と執行

6. ジェンダー主流化にあたっての課題

「全国技術支援農村拡充プログラム」(PRONATER)の全てのレベルでいかにジェンダー主流化を推進するか

7. 上記課題選定の理由

私はこれまで女性のための「全国技術支援政策」(ATER: National Technical Assistance Policy)に携わってきたが日々ジェンダー主流化の難しさを思い知らされている。今日、同政策は再編されており、近年「全国技術支援政策」(ATER)は法制化された。これを受け農村女性およびその団体に対し、技術支援とサービス提供を保証する規範等、あらゆる法律的手段が確立・実施されている。

このような現状をふまえると、「全国技術支援農村拡充プログラム」(PRONATER)の全レベルにジェンダー主流化を本格的に組み込み、改善していくには今が絶好の機会であると考えられる。

8. セミナーから得た知識とスキル

コースを通して新たに学んだ内容のなかでは、PCM(プロジェクト・サイクル・マネジメント)はプロジェクトの立案・評価に役立つ重要なツールである。

9. ジェンダー主流化に関するアクションプラン

- (1) プロジェクトタイトル: 全国技術支援政策(ATER)におけるジェンダー主流化
- (2) 期間: 2010年10月-2011年12月
- (3) 対象領域: 農業開発省
- (4) 受益者層(ターゲットグループ): 行政官30名
- (5) 実施機関: 農業開発省 農村女性・キロンボラス部(the Rural Women and Quilombolas Department)
- (6) 上位目標: ブラジルの農村女性がエンパワーメントされる。
- (7) プロジェクト目標: 農村女性対象の技術支援活動が強化され、向上する。
- (8) 活動:
  - 0.1. 農村女性・キロンボラス部対象の政策調整会合(1回)を実施し、JICA研修で得た経験・アクションプラン(調整担当者4名)を発表する。
    - 1.1. 調査結果を分析し農村女性のニーズを特定することで全国27州における農村女性技術支援のニーズを体系化する。
    - 1.2. 農村女性対象の技術支援のニーズを分析し他の農村開発公共政策(クレジット/マーケティング/生産機構等)と関連付ける
    - 1.3. 農村女性が必要とする技術支援活動の一覧(portfolio)/マニュアルを作成する
    - 1.4. 農村女性・キロンボラス部対象の政策調整会合を実施し、承認を得て上記の活動一覧を提示する(調整担当者4名、行政官5名)。
  - 2.1. 家族農業事務局(SAF)との会合を実施する。アクションプラン/活動一覧を提示し、同事務局のジェンダー主流化のアクションプランを作成し、合意をとりつける(行政官10名)。
  - 2.2. INCRA(国立植民地化土地改革機構)との会合を実施する。アクションプラン/活動一覧を提示し、同機構のジェンダー主流化行動計画を作成し、合意をとりつける(行政官10名)。
  - 3.1. 分析報告および活動・予算のモニタリング等、ジェンダー主流化行動計画の実施状況をチェックする
- (9) 成果:
  - ◆ 農村女性対象の技術支援活動が明確化される。
  - ◆ 調整担当官との間で統一された戦略が規定・合意・実施される。